

今村 一正 議員

Q・震災から、子ども達の命を守ろう

A・安全点検は年度内に実施



Q

学校は子ども達
などが一日の大

半を過ごす活動の場である。また、もし災害があつた時は、地域住民の方が応急避難をする場所でもある。だから安全であることは最も大切なことである。

最近の地震による被害では、校舎などの建物は持ちこたえても、天井や照明器具の落下、窓ガラスの破損、本棚などの転倒による人的被害が多発している。こうした被害を防ぐための対策として次の点を聞く。

- ①子ども達の大切な命を守るため、非構造部材の耐震化は、どこまでできているか。
- ②自主点検・定期点検やガイドブックによる点検が定められているが、それぞれの実施状況・結果・対策は。
- ③補助金事業などの国の取り組み状況は。

A

①各学校における非構造部材

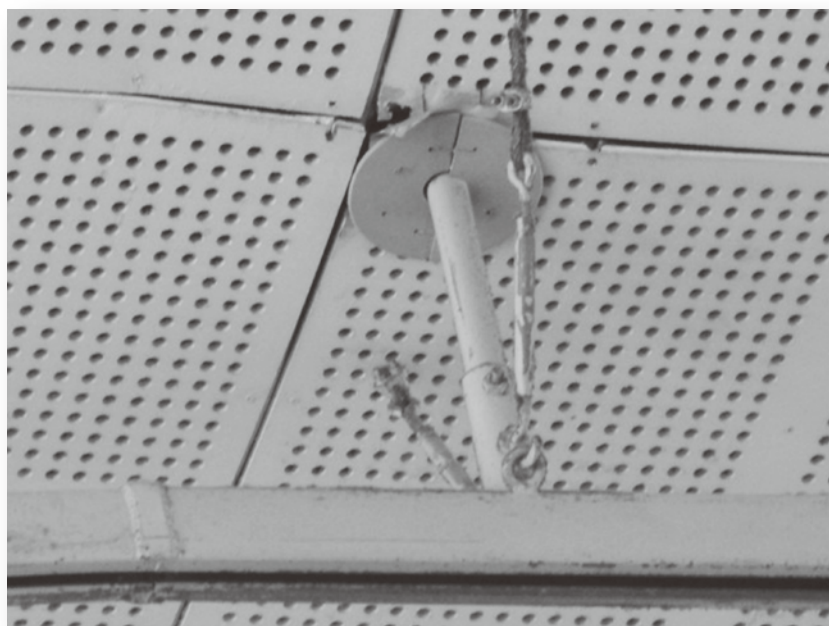
の耐震性については、全体的に十分な確認ができていない状況にあり改めて調査・点検を行うことはきわめて有意義なことである。各学校では、毎月一回、目視を中心とした校舎内の天井や照明器具等を含めた定期安全点検を行っている。

②教育委員会としては、

現行の安全点検カードを改善して教員の意識化を図ると共に、学校設置者による非構造部材に係る点検を年度内に実施したい。

③非構造部材の点検・耐震化対策への財政

支援制度については、文部科学省の防災機能強化事業と国土交通省の事業があり、今後、検討を重ねていく。



大丈夫か！天井取付レール